

船舶事故等調査報告書

平成21年5月28日
運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2009長第1号	
事故等名	モーターボート(船名なし)運航阻害	
発生年月日時刻	平成21年1月2日(金)14時00分ごろ	
発生場所	長崎県平戸市生月町剣崎北方沖200m付近 同町所在大婆鼻灯台から真方位170° 1,950m付近 (北緯33° 25.35'、東経129° 26.02')	
事故等調査の経過	調査の概要:平成21年3月11日長崎・地方事故調査官が船長から口述聴取 原因関係者からの意見聴取:意見なし	
事実情報	船種・船名・総トン数 船舶番号(IMO 番号) 船舶所有者等	
	モーターボート(船名なし) 2.9m なし 個人所有	
船種・船名・総トン数 船舶番号(IMO 番号) 船舶所有者等		
乗組員等に関する情報	船長 二級小型船舶操縦士	
負傷者	なし	
損傷	なし	
事故等の経過	本船は、長崎県平戸市生月町元浦港沖から剣崎沖にかけての湾内を、時々エンジンをかけて移動しながら釣りを行っていたところ、平成21年1月2日14時00分ごろ、突然、エンジンがかからなくなった。 調査しても原因がわからず復旧できなかったため、オールを漕いで岸へ戻ろうとしたが、風と潮流によって沖へ流されたため、118番で海上保安庁に救助要請をして、巡視艇により元浦港までえい航救助された。	
分析	気象・海象の関与 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 判明した事項の解析	なし あり なし 本船は、キルスイッチキーがエンジンカットオフスイッチから抜けかかっていた可能性があると考えられる。
原因	本インシデントは、本船が釣り中、船長がキルスイッチのコードに体が触れて引っ張ったため、キルスイッチキーがエンジンカットオフスイッチから抜けかかっていたことにより発生した可能性があると考えられる。	
その他の事項	なし	